



■発行 一般社団法人
群馬県介護福祉士会事務局
〒371-8525 群馬県前橋市新前橋町13-12
群馬県社会福祉協議会
地域福祉課内
TEL 027-255-6226 FAX 027-255-6173
URL <https://www.gunma-careworkers.net/>
E-mai info@gunma-careworkers.net

Vol.100 2021. 6

会報誌創刊100号を迎えて



群馬県介護福祉士会は、平成11（1999）年に任意団体として全国都道府県最後に設立され、平成22（2010）年には一般社団法人格を取得し、今年で創立から22年を迎えます。これまでの間、70名を超える方々が役員を担い、当士会活動を会員および関係機関や団体にお伝えする会報誌も、この度100号を迎えることとなりました。これもひとえに、これまで当士会活動を支えて下さった広報を始めとする役員の方々、また会員皆様のおかげと感謝を申し上げます。

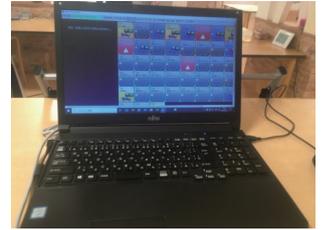
今年度介護報酬が改定され、団塊世代が後期高齢者になる2025年や、高齢者人口がピークを迎える2040年頃を見据えて介護現場の革新等を図るため、サービス提供体制強化加算において、介護福祉士が多い職場を評価する新たな区分が設けられました。また、高齢者が支払う介護保険料は、前回3年前の改定を145円上回り、全国平均で月額6千円を超えました。そして国は、介護人材を確保するため、アクティブシニア等多様な人材の確保・育成、外国人材受け入れ等の政策を行っています。介護福祉士には、こうした社会的要請への対応や介護職の中核的存在としての役割を担うために、質の高い介護サービスを提供し、資格の専門性や存在価値を証明することが求められています。

先般実施した当士会会員アンケート結果によれば、会員継続の理由として「様々な情報が欲しい」が65.7%、「専門性を高めたい」が50.7%、「研修会に参加したい」が46.3%などとなりました。前段内容と合わせると、当士会活動のなかでも会報誌の充実は、より一層重要であると考えます。会員お一人おひとりが、群馬県介護福祉士会をともにはぐくみ育てる、かけがえのない仲間です。会員皆様からご意見、ご提案をいただきながら、介護福祉士を巡る社会の変遷や時代の要求に合わせて、会報誌作成および当士会活動のさらなる充実を図って参りたいと思います。皆様の会報誌作成を含む当士会活動への活発な参画を、よろしくお願い申し上げます。

～ 施設紹介 ～

2021年介護報酬改定が行われ、介護報酬改定概要の中に方針のひとつとして「ICT」化を進めていく事が記載されています。今回、実際に6年前より夜間帯見守りのICT化を導入されている施設を紹介致します。

【令和3年】2021年度介護報酬改定について ～ ICTをクローズアップする ～



2021年度介護報酬改定があり、1か月が過ぎました。新型コロナウイルス感染症や大規模災害があり、介護事業者にとって厳しい環境が続く中、2021年（令和3年）度の介護報酬改定では、改定率『+0.70%』の軽微なプラス改定となりました。

今回は、介護報酬改定の『④介護人材の確保・介護現場の革新』、「テクノロジーの活用や人員基準・運営基準の緩和を通じた業務効率化・業務負担軽減の推進」についてICTを活用している当社の取り組みをご紹介します。

当社は約6年前よりパラマウント社製の「眠りスキャン」が全室導入されています。

これはベットマットの下、心臓の位置に長方形のセンサーが設置され、センサーが入居者様の心拍・呼吸数・覚醒リズムを感知する仕組みとなっています。

夜勤者は眠りスキャンの導入により、夜間の安全体制の確保として「感覚での巡視ではなく視覚での巡視」、目が覚めた状態での訪室が可能となります。

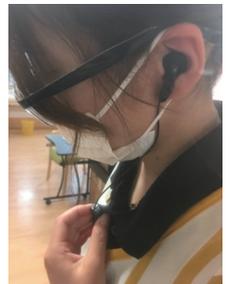
また端末を所持してのオムツ交換などが出来るため、所在の確認にも有効です。

① 眠りスキャンの活用について

夜間の睡眠状態は2週間データが一覧できます。

夜間不眠からの傾眠などの分析に役に立ちます。

看取りには、6年間の蓄積データ分析により身体の状態とバイタルを見ながら、パターンに沿ってご家族様が最後の時を一緒に過ごせるようにしています。



② コロナでの有効性

コロナでの発熱発症時期が夜間の呼吸データから推測できることがわかりました。

これはインフルエンザでも他の肺炎などの急変が呼吸器で発症する病気については、以前から呼吸状態の2週間データを確認しながら業務についていると急変の早期発見ができることは分析できていました。

しかし当社の関連施設で複数のコロナ患者の眠りスキャンデータを分析したところ、発熱まえ3日目あたりから呼吸データが異常に変化することが一覧上で確認出来ました。

同時にインカムも使用しているため、より早く連携体制をとれることとなります。

ICTを導入するのは経営者ですが、導入したICTを活かして職員の負担軽減だけでなく、機器の有効性を理解し、ケアのエビデンスに活かしてよりよい現場にするのは働く介護福祉士の仕事だと実感しています。



今年度の委員会目標と活動紹介



◎研修委員会

会員の皆様による、介護福祉士としての自己研鑽の場を提供できるよう、学びを止めないことを大切にして、対面やオンライン等、新しい研修体制の充実を目指します。活動につきましては、生涯研修制度を軸とし、実務に役立つ研修の企画・開催をしていきます。

常任理事 中田 由起子

◎支部委員会

支部活動の活性化を図るべく、支部間の情報共有などを行っています。コロナ禍にて今年度もZoomでの研修・交流会が主となりますが、それらを通じて自己研鑽や仲間づくりをしてみませんか。

支部活動に参画したい方がありましたら、是非ご連絡ください。

常任理事 芝崎 光弘

◎広報委員会

今年度、広報委員会では会報誌やHP、Facebookの内容を今まで以上に見やすく、内容の濃い、会員のニーズに即したものに変わって皆様に有意義な情報を発信できるよう支部の協力員と一丸となって取り組んでいきたいと思っています。

常任理事 中山 雄史

◎総務委員会

総務委員会では、理事会や監事会など各会議の開催、会計管理、規則や規程の整備など、組織の円滑かつ効率的な運営を行えるよう取り組んでいきます。また、倫理規定の在り方や災害時の組織強化について検討も行っていきたいと思っています。

副会長 佐藤 智昭

◎組織強化委員会

今年度組織強化委員会では組織の体制の整備に取り組んでいきたいと思っています。昨年度実施したアンケート結果を参考に、介護福祉士会の組織構造やそれぞれの委員会との連携の方法、会活動のあり方等について検討していければと思っています。

常任理事 高橋 知之

介護福祉士会員の紹介

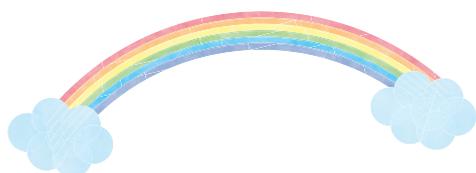
質問①介護福祉会に入会したきっかけ ②介護福祉士として大切にしていること ③休日の過ごし方

公益財団法人介護労働安定センター
群馬支所
アドバイザー 攪上 ゆき江



会報100号発刊、おめでとうございます。

- ①高校時代より障害児、知的障害者施設を訪れていて、様々な思いを描いたのが、介護の道に入る一歩です。一時は別の仕事に就きましたが、公募をきっかけに訪問介護の仕事の続けてきました。介護福祉士会入会のきっかけは、会設立に向け、発起人の一人として関わらせていただき、現在に至っています。
- ②現在は現場に携わっていませんが、介護福祉士として常にプロを自覚し、現在の業務に対しても介護福祉士として恥じない仕事をしていきたいと思えます。また、介護福祉士として大切にしたいことがあります。時代や介護保険制度が変わろうとも「介護の本質」は変えてはならないと思えます。どのような状態になっても、一人の人間と接して欲しいからです。
- ③「ステイホーム」が叫ばれていると、時には外出したくなる。気分転換に川沿いを散歩し、山の緑に感動したり、水の流れに目を落とし、石の上で休んでいる鳥と色んな発見ができます。家では花を植えたり、断捨離したり何気ない1日を過ごしています。



～ お知らせ ～

例年6月号にて総会開催の報告をさせて頂いておりましたが、今年度は開催の日程が例年に比べ遅くなっておりますので今号には間に合わないため、申し訳ありませんが次号の掲載とさせていただきます。何卒宜しくお願い致します。

広報委員会



群馬県介護福祉士会
会員数
2021年6月現在

771名

* 編集後記 *

『衣替えと梅雨で忙しい季節になりました。今年は加えてワクチン接種の準備で例年よりも多忙な日々になります。そんな中でも自然の移り変わりは毎年同じです。葉っぱの色は青々しく力強い緑に変化しています。そんな自然の力強さを学びながら挫けず、前を向いて歩いていきたいと思えます』

西毛支部広報協力員 高田 成浩